



2024年7月31日

各位

会社名 ヤマハ株式会社  
代表者名 代表執行役社長 山浦 敦  
(コード番号7951 東証プライム)  
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 杉山 啓子  
(TEL 053-460-2210)

## 2025年3月期 第1四半期業績の概要と通期業績予想について[IFRS]

### □ 第1四半期業績の概要 — 増収・増益 —

2025年3月期 第1四半期の売上収益は、中国市場における楽器販売の回復遅れがあるものの、法人向け音響機器の販売好調に加え、為替の円安による影響もあり前年同期に対し60億円(5.6%)増加の1,121億円となりました。事業利益は、為替の円安による影響により、前年同期に対し27億円(41.5%)増加の92億円となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、29億円(45.2%)増加の94億円となりました。

### <事業セグメント別の売上収益・損益の状況>

#### ● 楽器事業

売上収益 714 億円 (前年同期比 1.2%減) 事業利益 42 億円 (前年同期比 11.5%減)

アコースティックピアノは、中国での需要減が続き大幅な減収となりました。電子楽器は、デジタルピアノの市場在庫が解消に向かいつつあるものの中国での需要減が響き減収となりました。管弦打楽器は、堅調な需要に支えられ増収となりました。ギターは、減収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前年同期に対し、8億円の減収となりました。事業利益は、5億円の減益となりました。

#### ● 音響機器事業

売上収益 315 億円 (前期比 30.6%増) 事業利益 40 億円 (前期は1億円の利益)

個人向け事業は、減収となりました。法人向け事業は、業務用音響機器の旺盛な需要が継続したことにより大幅な増収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前年同期に対し74億円の大幅な増収となりました。事業利益は、39億円の増益となりました。

#### ● 部品・装置、その他の事業

売上収益 93 億円 (前期比 6.0%減) 事業利益 11 億円 (前期比 35.5%減)

電子デバイスは、車載オーディオの出荷が好調に推移したことにより大幅な増収、自動車用内装部品、ゴルフ用品は、減収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前年同期に対し6億円の減収となりました。事業利益は、6億円の減益となりました。

□ 2025年3月期 通期業績予想 — 為替レートの見直しにより上方修正 —

中国における市況回復のさらなる遅れを織り込むものの、為替レートの見直しにより売上収益、事業利益および親会社の所有者に帰属する当期利益を上方修正いたします。

2025年3月期の通期業績予想は、5月8日に公表した売上収益4,650億円（前期比0.5%増）、事業利益450億円（前期比33.7%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益340億円（前期比14.7%増）を、売上収益4,750億円（前期比2.6%増）、事業利益460億円（前期比36.7%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益355億円（前期比19.8%増）に修正いたします。

なお、本予想における第2四半期以降の想定為替レートは、対USドル150円、対ユーロ160円です。

注1) 事業利益とは、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

注2) 文章中の売上収益、損益の数値は、原則として億円未満四捨五入で記載しております。

以上

## (1) 主要財務指標

	前期第1四半期実績 <sup>(*)10</sup>	第1四半期実績	前期実績	当期予想	前回当期予想
	(23/4月-6月)	(24/4月-6月)	24年3月期	25年3月期	(24/5/8発表)
	24年3月期	25年3月期	24年3月期	25年3月期	25年3月期
売上収益	1,062億円	1,121億円	4,629億円	4,750億円	4,650億円
うち国内	266億円 (25.0%)	245億円 (21.8%)	1,092億円 (23.6%)	1,062億円 (22.4%)	1,081億円 (23.2%)
うち海外	796億円 (75.0%)	877億円 (78.2%)	3,537億円 (76.4%)	3,688億円 (77.6%)	3,569億円 (76.8%)
事業利益 <sup>(*)1</sup>	65億円 (6.1%)	92億円 (8.2%)	337億円 (7.3%)	460億円 (9.7%)	450億円 (9.7%)
営業利益	66億円 (6.2%)	92億円 (8.2%)	290億円 (6.3%)	445億円 (9.4%)	450億円 (9.7%)
税引前利益	98億円 (9.2%)	134億円 (12.0%)	376億円 (8.1%)	485億円 (10.2%)	465億円 (10.0%)
当期利益 <sup>(*)2</sup>	65億円 (6.1%)	94億円 (8.4%)	296億円 (6.4%)	355億円 (7.5%)	340億円 (7.3%)
為替レート(決済レート) <sup>(*)3</sup>	136円/US\$ 140円/EUR	155円/US\$ 167円/EUR	144円/US\$ 146円/EUR	151円/US\$ 162円/EUR	145円/US\$ 155円/EUR
ROE <sup>(*)4</sup>	5.6%	7.3%	6.1%	6.8%	6.6%
ROIC <sup>(*)5,6</sup>	3.7%	5.0%	5.5%	6.5%	6.4%
ROA <sup>(*)7</sup>	4.3%	5.6%	4.7%	5.3%	5.1%
1株当たり利益	39.6円	57.2円	175.7円	72.0円 <sup>(*)11</sup> (216.0円)	206.9円
設備投資額 (減価償却費)	68億円 (34億円)	41億円 (37億円)	271億円 (138億円)	200億円 (150億円)	200億円 (150億円)
研究開発費	65億円	66億円	269億円	270億円	270億円
(キャッシュフロー)					
営業活動	88億円	111億円	438億円	745億円	720億円
投資活動	△32億円	△48億円	△159億円	△250億円	△250億円
フリーキャッシュフロー	56億円	63億円	279億円	495億円	470億円
期末在庫高	1,666億円	1,744億円	1,641億円	1,450億円	1,420億円
(要員数)					
国内	5,663人	5,715人	5,532人	5,500人	5,500人
海外	14,440人	13,896人	14,112人	13,400人	14,000人
正社員計 <sup>(*)8</sup>	20,103人	19,611人	19,644人	18,900人	19,500人
正社員外要員(期中平均)	7,718人	6,022人	6,871人	5,700人	5,900人
(事業別売上収益)					
楽器	722億円 (68.0%)	714億円 (63.6%)	3,052億円 (65.9%)	3,050億円 (64.2%)	3,050億円 (65.6%)
音響機器	241億円 (22.7%)	315億円 (28.1%)	1,211億円 (26.2%)	1,310億円 (27.6%)	1,220億円 (26.2%)
その他	99億円 (9.3%)	93億円 (8.3%)	366億円 (7.9%)	390億円 (8.2%)	380億円 (8.2%)
(事業別事業利益 <sup>(*)11</sup> )					
楽器	47億円	42億円	253億円	290億円	315億円
音響機器	1億円	40億円	64億円	140億円	110億円
その他	17億円	11億円	19億円	30億円	25億円

## (2) 売上収益の内訳(事業別、地域別)

25年3月期 第1四半期累計実績 (24/4月-6月)	楽器		音響機器		その他		合計	
	売上収益	前期比 <sup>(*)9</sup>	売上収益	前期比 <sup>(*)9</sup>	売上収益	前期比 <sup>(*)9</sup>	売上収益	前期比 <sup>(*)9</sup>
日本	156億円	97%	59億円	102%	30億円	61%	245億円	92%
北米	184億円	97%	75億円	120%	19億円	74%	277億円	100%
欧州	135億円	94%	107億円	138%	0億円	124%	243億円	109%
中国	100億円	67%	15億円	102%	37億円	214%	152億円	84%
その他	139億円	96%	59億円	117%	7億円	46%	205億円	98%
合計	714億円	91%	315億円	119%	93億円	86%	1,121億円	97%

\*1 事業利益とは、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

\*2 当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益

\*3 為替レートは、利益に影響を及ぼすヤマハの輸出入決済レートを記載しています。2Q以降為替レート US\$=150円、EUR=160円

\*4, 5, 7 ROE・ROIC・ROAは年換算値

\*6 ROIC＝税引後事業利益÷(親会社の所有者に帰属する株主資本＋有利子負債)

\*8 要員数＝期末社員在籍数

\*9 前期比は為替を除いた実質ベースでの前期比増減を表しています。

\*10 前第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る取得対価の配分が完了したため、前第1四半期連結会計期間の暫定的な会計処理の確定を行っており、主要財務指標については、これに伴う遡及修正の内容を反映しております。

\*11 当期予想における1株当たり利益は本日公表の株式分割の影響(1株につき3株の割合)を考慮しています。株式分割の影響を考慮しない場合の金額を( )に表記しています。

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。